

取扱説明書

用途

- 作業場、その他の一般清掃
- 電動工具での木材などの研削、切断、穴あけ作業時に発生する粉じんの集じん

〔乾湿両用のみ〕

- 床にこぼした水などの液体吸引

日立工機 電動工具用集じん機

8 L	RP 80YB	〔乾湿両用〕	15 L	RP 150YB	〔乾湿両用〕
8 L	RP 80YD	〔乾式〕	15 L	RP 150YD	〔乾式〕
25 L	RP 250YD	〔乾式〕	35 L	RP 350YA	〔乾式〕

このたびは日立電動工具用集じん機をお買い上げいただき、ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。

集じん機の安全上のご注意	1
本製品の使用上のご注意	3
各部の名称	5
仕様	5
標準付属品	6
別売部品	7

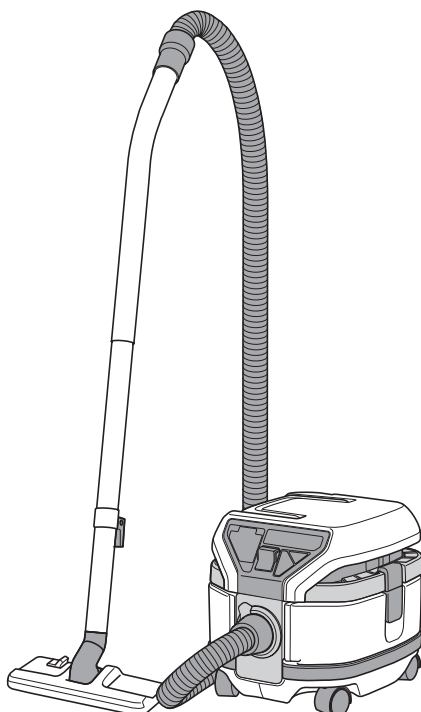
はじめに

ご使用前の準備・点検	11
ポリ袋の取付け	13
フィルタの取付け・確認	15
ホース(床用吸口他)の接続	17
電動工具との接続	17
連動用コンセント	20
スイッチの操作	21
LEDライトの使い方	22
集じんする	23
フロート機構	24
フィルタのちり落とし	25
粉じん(水)を捨てる	26
紙フィルタ(別売部品)の取付け	28

使い方

運搬・収納	29
保守・点検	31
ご修理のときは	裏表紙

その他



RP 80YB

⚠ 警告、**⚠ 注意**、**注** の意味について

ご使用上の注意事項は「**⚠ 警告**」、「**⚠ 注意**」、「**注**」に区分しており、それぞれ次の意味を表します。

⚠ 警告 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠ 注意 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、「**⚠ 注意**」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

注 : 製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なお注意。

集じん機の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠ 警告

- ① **作業場は、いつもきれいに保ってください。**
 - ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。
- ② **作業場の周囲状況も考慮してください。**
 - 作業場は十分に明るくしてください。
 - 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
- ③ **使用電源は、銘板に表示してある電圧・周波数で使用してください。**
 - 表示以外の電源を使用すると、火災・感電や故障の原因になります。
- ④ **子供を近づけないでください。**
 - 作業員以外、集じん機やコードに触れさせないでください。
 - 作業員以外、作業場へ近づけないでください。
- ⑤ **作業に合った集じん機を使用してください。**
 - 指定された用途以外に使用しないでください。
- ⑥ **コードを乱暴に扱わないでください。**
 - コードを持って集じん機を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
 - コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
また、重い物を載せたり、挟み込んだりしないでください。

警告

- ⑦ 集じん機は、注意深く手入れをしてください。
- 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - 使用する前にコードを点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
 - 延長コードを使用する場合は、事前に点検し、損傷している場合には交換してください。
- ⑧ 次の場合は、集じん機のスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 使用しない、または、修理・調整・点検する場合。
 - ホース、フィルタなどの付属品や別売部品を交換する場合。
 - その他、危険が予想される場合。
- ⑨ 不意な始動は避けてください。
- 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
 - 電源プラグをコンセントにさし込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
- ⑩ 油断しないで十分注意して作業してください。
- 集じん機を使用する場合は、取扱方法、作業のしかた、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
 - 集じん機からはなれて作業する場合は、集じん機の運転状況（異常音、粉じん吹出し、発煙など）に十分注意しながら作業してください。
 - 常識を働かせてください。
 - 疲れているときは、使用しないでください。
- ⑪ 損傷した部品がないか点検してください。
- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また、所定機能を発揮するか確認してください。
 - 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
 - 損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
- スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
- スイッチで始動および停止操作のできない集じん機は、使用しないでください。
- ⑫ 集じん機の修理は、専門店に依頼してください。
- この集じん機は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
 - 修理は、必ずお買い求めの販売店に依頼してください。
- ご自身で修理すると、事故やけがの原因になります。

本製品の使用上のご注意

先に集じん機として共通の注意事項を述べましたが、電動工具用集じん機として、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

警告

- ① **必ずアース(接地)してください。**
 - 故障や漏電のとき、感電の恐れがあります。(詳細はP11「アース(接地)、漏電しゃ断器の確認」をご参照ください。)
- ② **連動コンセントに接続できる電動工具の消費電力は強運転時 100 ～ 285 W、中運転時 100 ～ 760 W、弱運転時 100 ～ 1,050 W までです。**
 - 上記を超える消費電力の電動工具を連動コンセントに接続して使用すると、定格以上の電流が流れ、連動回路や電源プラグなどの故障やけがの原因になります。
- ③ **定格 15 A 以上のコンセントを使用してください。**
 - 他の器具と併用する場合、下記(1)～(3)の合計がコンセントの定格電流を超えないようにしてください。異常発熱による火災の原因になります。
 - (1) 本製品の定格電流
 - (2) 連動コンセントに接続している電動工具の定格電流
 - (3) コンセントを併用する器具の定格電流
- ④ **以下のものは吸込まないでください。**
 - 金属の研削、切断作業時に発生する火花。
 - 火のついた、たばこの吸いがらなど高温度の物。
 - 引火性物質(ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油、塗料など)、爆発性物質(ニトログリセリンなど)、発火性物質(アルミニウム、亜鉛、マグネシウム、チタン、赤リン、黄リン、セルロイドなど)。
 - 釘、カミソリの刃など鋭利な物。
 - 木片、金属、石、ひもなど。
 - セメント粉・トナーなど固化するものや、金属粉・カーボン粉など導電性の微粉じん。
 - 油、熱湯、薬液、洗剤など発泡性のある液体。
 - 水、油などの液体。(乾式：RP 80YD、RP 150YD、RP 250YD、RP 350YAの場合)
火災やけがの原因になります。
- ⑤ **フィルタは正しくセットして使用してください。**
 - フィルタをはずしたまま使用したり、セット位置を誤ったまま使用したり、破れたフィルタを使用したりしないでください。
モーターが故障する原因になります。
- ⑥ **機体や電源プラグ、連動コンセントに水や油などをかけたりしないでください。**
 - この機体は防水構造ではないため、感電や故障の原因になります。

⚠ 警告

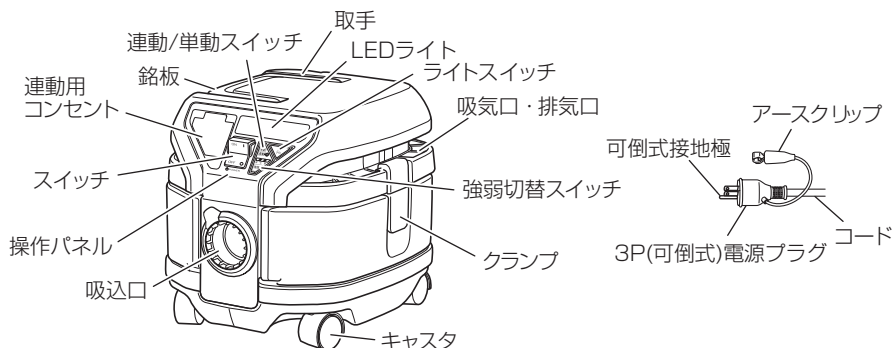
- ⑦ 機体の吸込口・吸気口・排気口をふさいだ状態で使用しないでください。
 - モーターの温度が異常に上昇し、部品の変形やモーター故障などの原因になります。
- ⑧ フロートが動作したまま、またホース、吸口などに異物が詰まったまま運転しないでください。
 - モーターの温度が異常に上昇し、部品の変形やモーターが故障する原因になります。
- ⑨ 機体を倒したり、横倒しの状態で使用しないでください。
 - 感電や故障の原因になります。
- ⑩ 転倒などによる機体の変形、破損防止のため、機体は静かに移動してください。
 - 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
- ⑪ 誤って落としたり、ぶつけたときは、機体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
 - 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
- ⑫ 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音や異常振動がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
 - そのまま使用していると、けがの原因になります。
- ⑬ 延長コードを使用するときは、アース線を備えた3心キャブタイヤケーブルを使用してください。
 - アース線のない2心コードですと、感電の原因になります。
- ⑭ この機体は屋内用です。決して屋外で使用しないでください。
 - 絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。

○ 騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。ご近所に迷惑をかけないように、規制値以下でご使用になることが必要です。状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

各部の名称

【イラストはRP 80YBです】



仕 様

形 名	RP 80YB	RP 150YB	RP 80YD	RP 150YD	RP 250YD	RP 350YA	
使 用 電 源	単相交流 50 / 60Hz 共用 電圧 100 V						
消 費 電 力	1,140 W						
モ ー タ ー	単相直巻整流子モーター						
絶 縁 構 造	一重絶縁						
用 途	乾湿両用		乾式専用				
集 じ ん 容 量	8 L	15 L	8 L	15 L	25 L	35 L	
吸 水 容 量※1	6 L	12 L	—				
フィルタの種類	布フィルタ		粉じん用フィルタ（プレフィルタ付）				
電 流	強 12.0 A 中 7.0 A 弱 3.9 A						
連動用コンセント	強 100 W～285 W 中 100 W～760 W 弱 100 W～1,050 W （接続できる電動工具の消費電力）						
最 大 風 量	強 3.5 m³/min 中 1.7 m³/min 弱 0.9 m³/min						
最 大 真 空 度	強 22.0 kPa{ 2,240 mm水柱} 中 6.5 kPa{ 660 mm水柱} 弱 1.7 kPa{ 173 mm水柱}						
ホース(内径×長さ)	φ 38 mm× 2 m		φ 28 mm× 5 m				
外径寸法	幅	331 mm	334 mm	331 mm	334 mm	414 mm	390 mm
	高 さ	334 mm	400 mm	334 mm	400 mm	420 mm	665 mm
	奥 行	364 mm	366 mm	364 mm	366 mm	431 mm	469 mm
質 量※2	7.1 kg	7.9 kg	7.6 kg	8.2 kg	9.6 kg	10.0 kg	
コ ー ド	アースクリップ付 3 心ケーブル 5 m						

※1：機体を水平に設置した静水の状態、および布フィルタが乾いている状態での容量

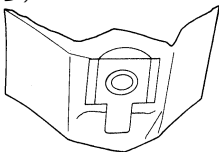
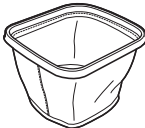
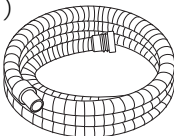
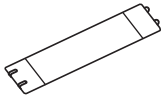
※2：コード、標準付属品を除く

標準付属品

	個数	RP 80YB RP 150YB	RP 80YD/RP 150YD RP 250YD/RP 350YA
① ホース (内径φ 38 × 長さ 2 m) (一般清掃用) 	1 本	○	×
② ホース (内径φ 28 × 長さ 5 m) (電動工具との接続用) 	1 本	×	○
③ パイプホルダ 	1 個	○	×
④ ストレートパイプ 	1 本	○	×
⑤ ベンドパイプ 	1 本	○	×
⑥ 床用吸口 	1 個	○	×
⑦ すきま用吸口 	1 個	○	×
⑧ ポリ袋 	10 枚	○	○
⑨ ジョイント (A) 	1 個	○	○
⑩ ジョイント (B) 	1 個	○	○
⑪ ジョイント (C) 	1 個	○	×
⑫ アダプタ (ゴム) 	1 個	○	○
⑬ D 25 アダプタ (38 mm用) (マキタ電動工具との接続用) 	1 個	×	○
⑭ D 25 アダプタ (26 mm用) (マキタ電動工具との接続用) 	1 個	×	○
⑮ ホースバンド 	5 個	×	○
⑯ D 38 アダプタ (38 mm用) (マキタ電動工具との接続用) 	1 個	○	×
⑰ D 38 アダプタ (26 mm用) (マキタ電動工具との接続用) 	1 個	○	×

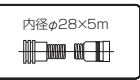
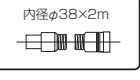
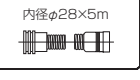
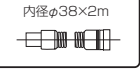
別売部品 (別売部品は生産を打ち切ることがありますので、ご了承ください。)

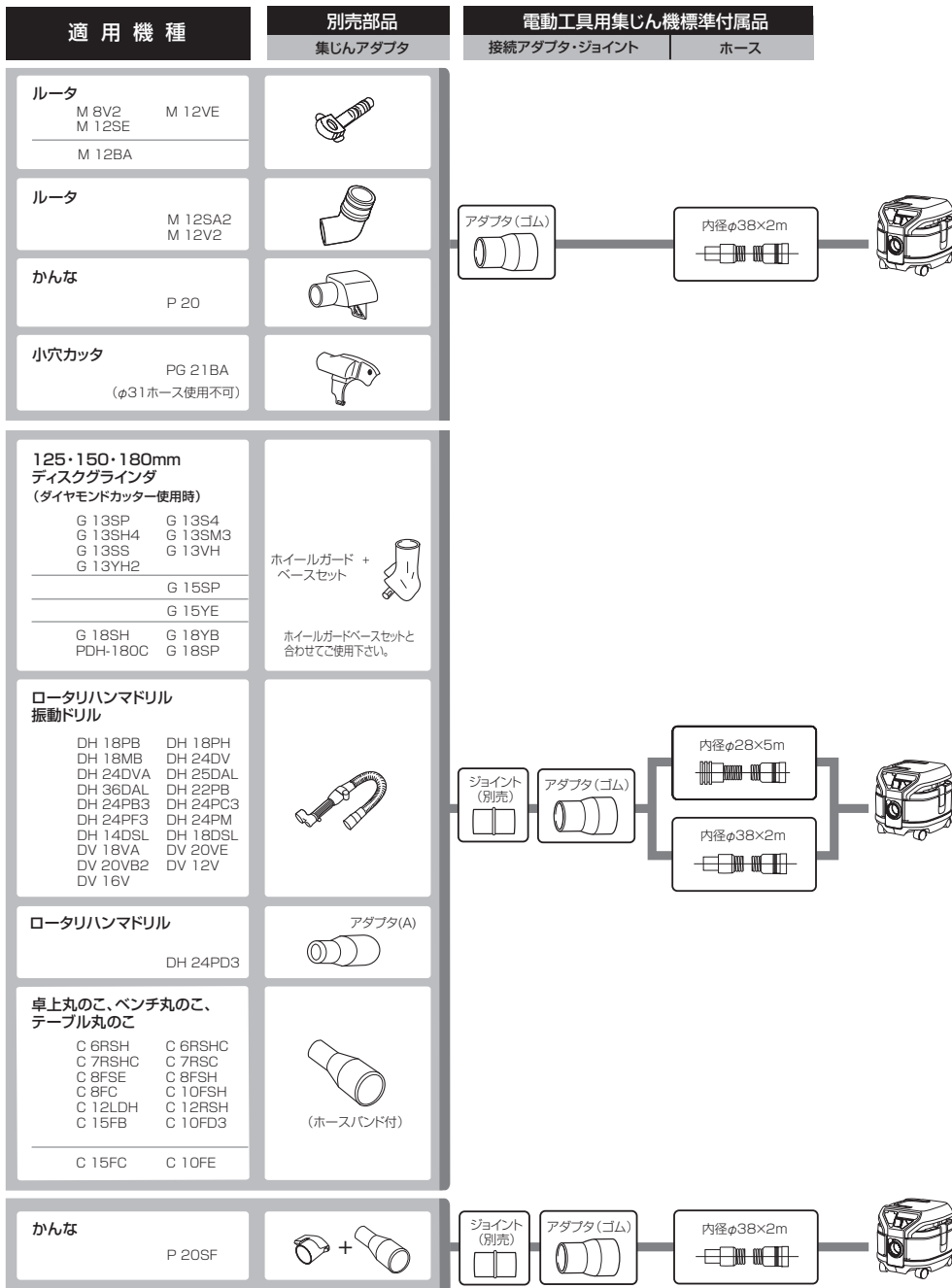
詳しくは、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

部 品 名	用 途
紙フィルタ (5枚入り) 	紙フィルタごと捨てることで、清潔にごみ捨てができます。水は吸引できません。RP 80YB、RP 150YBでサイディング粉、石材粉など細かい粉じんを集じんする際は、布フィルタと併用します。
ナイロンフィルタ 	水、湿った粉じんを吸引するとき使用します。 (乾湿両用：RP 80YB、RP 150YBのみ使用可)
ホース (内径φ 38 ×長さ 5 m) 	内径が太いため、作業場、その他の一般清掃するとき使用します。電動工具と接続しても使用できます。
ホースカバーセット 	ホースと電動工具のコードを包み込み、物に引っ掛かりにくくします。
ホースバンド (ゴム製) (5個入り) 	ホース (内径φ 28) と電動工具のコードを束ねて、物に引っ掛かりにくくします。
ホースバンド (呼径：φ 38、φ 60、φ 75) 	集じんアダプタを使用する場合、機体のアダプタと接続するため使用します。
各種電動工具接続用アダプタ・ジョイント	P 8～10 参照

適用機種	別売部品 集じんアダプタ	電動工具用集じん機標準付属品 接続アダプタ・ジョイント ホース	
集じん丸のご C 4YB C 5YA C 5YC C 4YC C 5YB2	集じんアダプタ不要		
集じん丸のご C 4YA2	 セット品()含む (ホースバンドアダプタ)  (L字形) 		
リフォーム用丸のご、丸のご C 5MR	集じんアダプタセット 		
カッタ CM 4YA CM 5YA			
100mm・125mm ディスクグラインダ (ダイヤモンドカッター使用時) PDA-100H PDIH-100H G 10SB1 G 10YH2 G 10VH G 10SH4 G 10SL4 G 10SP4 G 10ST G 10SM3 G 10MH G 10ML G 10B2 G 10SS G 14DSL G 18DSL G 13SP G 13S4 G 13SH4 G 13SM3 G 13SS G 13VH G 13YH2	  		
深切り丸のご、丸のご C 5MBY C 5UBY C 6UBY C 5MUY C 5MUY C 5UVY C 6UVY C 5MBYA C 5MVYA C 6MBYA C 6MVYA C 6MB4 C 6UB4 C 7MB4 C 7UB4			
コードレス丸のご C 14DSL C 14DSL2 C 18DSL2			
ジグソー CJ 90VST CJ 120V CJ 110M CJ 110MV CJ 14DSL CJ 18DSL			
カッタ CM12Y	集じんアダプタ不要		

はじめに

適用機種	別売部品 集じんアダプタ	電動工具用集じん機標準付属品	
		接続アダプタ・ジョイント	ホース
コードレス集じん丸のこ C 14DYSL C 14DYSL2 コードレスチップソーカッタ CD 14DSL CD 14DSL2 コードレスチップソー切断機 CD 14DFL 集じん丸のこ C 6Y1 C 8Y ジグソー CJ 65SF CJ 65VF 100mm・125mm ディスクグラインダ (ダイヤモンドカッター使用時) PDA-100H PDH-100H G 10SB1 G 10YH2 G 10VH G 10SH4 G 10SL4 G 10SP4 G 10ST G 10SM3 G 10MH G 10ML G 10B2 G 10SS G 14DSL G 18DSL G 13SP G 13S4 G 13SH4 G 13SM3 G 13SS G 13VH G 13YH2	集じんアダプタ不要 集じんアダプタ不要 集じんアダプタ不要 集じんアダプタ不要 	    	
深切り丸のこ、丸のこ C 6SS C 7SS コードレス丸のこ C 18DMR C 18DL C 18DSL サンダ SV 12SD ミニサンダ・ベルトサンダ SV 12SG SV 12SH SV 13YG SB 8V2 SB 10V2 ディスクサンダ S 10SA3 振動ドリル DV 21V VTP-25 ハンマドリル PR-25B PR-38E DH 35 DH 40SR DH 40MFY ロータリーハンマドリル DH 25PB カッタ CM 6 CM 11 100mm ディスクグラインダ (ダイヤモンドカッター使用時) PDA-100H PDH-100H G 10SB1 G 10YH2 G 10VH G 10SH4 G 10SL4 G 10SP4 G 10ST G 10SM3 G 10MH G 10ML G 10B2 G 10SS G 14DSL G 18DSL	   集じんアダプタ不要    ドリルビット専用 (錐径11～22mm) (長さ280mmまで)  ドリルビット専用 (錐径5～18mm) (長さ209mmまで) 集じんアダプタ不要 	   	



ご使用前の準備・点検

●アース(接地)、漏電しゃ断器の確認

⚠ 警告

アース線をガス管に取付けると爆発の恐れがあるので、絶対に取付けないでください。

ご使用にさきだち、電源に労働安全衛生規則や電気設備の技術基準などに規定された感電防止用漏電しゃ断装置(以下、漏電しゃ断器と言います)が設置されていることを確認してください。

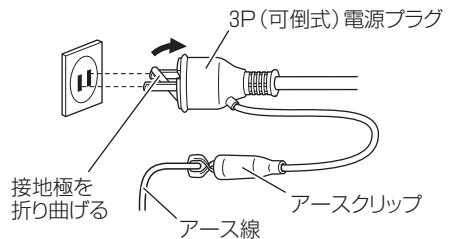
注・プラグのアースクリップや接地極、アース線は、異常のないことを確認してからご使用ください。

テスターや絶縁抵抗計などをお持ちでしたら、プラグの接地極またはアースクリップと機体の金属外枠との間の導通を確認してください。

・地中に接地極(アース板、アース棒)を埋め、アース線を接続するなどの接地工事は、電気工事士の資格が必要です。お近くの電気工事店にご相談ください。

アースクリップ付3P(可倒式)電源プラグはアース付(3ピン)コンセントに直接さし込むことでアースクリップによるアースは不要です。

アース極のない2極コンセントに接続するときは、右図のように接地極を折り曲げてコンセントにさし込み、アースクリップをアース線に接続してください。



●延長コードを使う場合

電気が流れるのに十分な太さのできるだけ短いコードをご使用ください。

右表は使用できるコードの太さ（導体公称断面積）と、最大の長さです。

必ずアース（接地）できる接地用の1心をもつ3心キャブタイヤケーブルをお使いください。

⚠ 警告

延長コードは損傷のないものを用意してください。

コードの太さ (mm ²)	最大の長さ (m)
3.5	15
5.5	25

●使用電源の確認

必ず銘板に表示してある電圧でご使用ください。表示を超える電圧で使用するとモーターの回転数が異常に速くなり、機体が破損する恐れがあります。

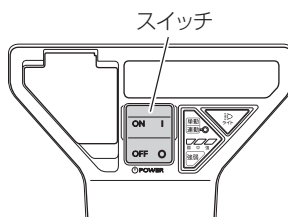
また、直流電源、エンジン発電機、昇圧器などのトランス類で使用しないでください。製品の損傷を生じるだけでなく、事故の原因になります。

●スイッチ「OFF」の確認

スイッチが入っているのを知らずに電源プラグをコンセントにさし込むと、不意に機体が起動し、思わぬ事故のもとになります。

スイッチは、「ON」側を押すと運転し、「OFF」側に戻すと停止します。

電源プラグさし込み時は、スイッチが「OFF」になっていることを必ず確認してください。



●コンセントの確認

電源プラグをさし込んだとき、コンセントがガタガタだったり、電源プラグがすぐ抜けるようでしたら修理が必要です。

お近くの電気工事店などにご相談ください。そのままお使いになりますと、過熱して事故の原因になります。

ポリ袋の取付け (ポリ袋なしでもご使用できます)

RP 80 YB、RP 150 YBの場合

- 1 クランプ(2個)をはずし、取手を持ってヘッドを引き上げ、タンクから取りはずします。
タンク内のフィルタ、フィルタケースを取りはずしてください。

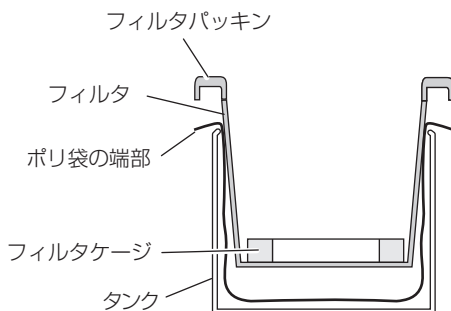
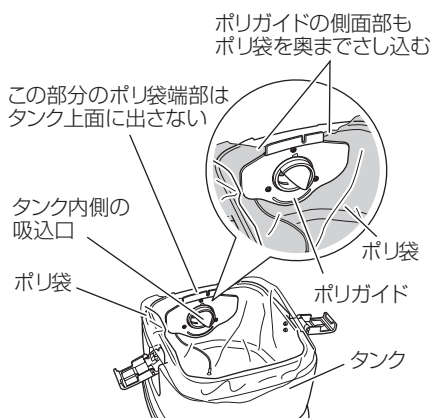
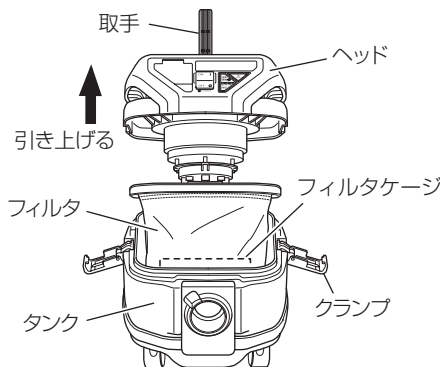
- 2 タンク内側とポリガイドの間に付属のポリ袋をさし込みます。
まず下側にさし込み、次に側面の順にさし込んでください。

- 3 ポリ袋をタンクの内面に沿って広げた後、ポリ袋の端部をタンクの外に引き出します。

P15「フィルタの取付け・確認」の手順に従い、フィルタ、フィルタケースを入れてください。

このとき、フィルタパッキンがポリ袋をしっかりとさみ込むように取付けてください。

- 注**・市販品のポリ袋は、45 L (幅 650 mm × 深さ 800 mm) が使用可能です。
ただし厚さ 0.04 mm 以上のものをご使用ください。
- ・吸込口部のポリ袋の端部は、タンク上面から出さないでください(右図参照)。
タンク上面からポリ袋の端部を全て出すと、吸込口がふさがれ、集じできません。



1 クランプ(2個)をはずし、取手を持ってヘッドを引き上げ、タンクから取りはずします。
タンク内の粉じん用フィルタ、プレフィルタを取りはずしてください。

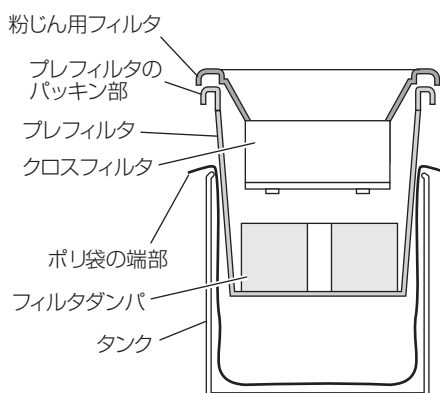
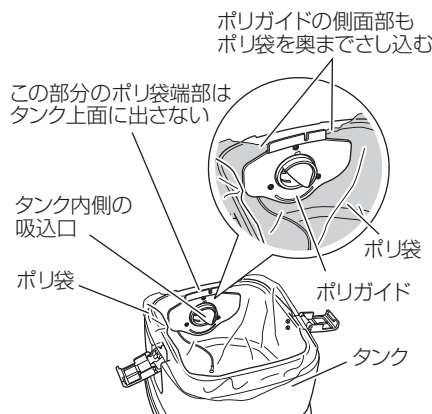
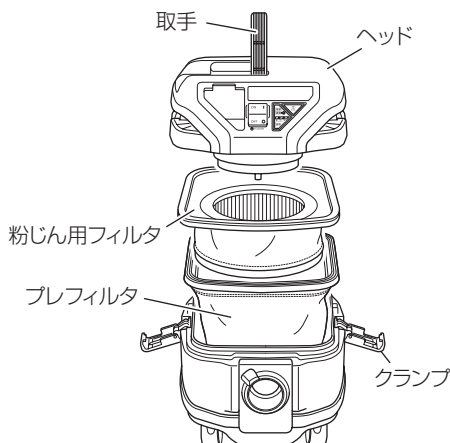
2 タンク内側とポリガイドの間に付属のポリ袋をさし込みます。
まず下側にさし込み、次に側面の順にさし込んでください。

3 ポリ袋をタンクの内面に沿って広げた後、ポリ袋の端部をタンクの外に引き出します。
P16「フィルタの取付け・確認」の順に従い、プレフィルタ、粉じん用フィルタを入れてください。
このとき、プレフィルタのパッキン部がポリ袋をしっかりとさみ込むようプレフィルタを取付けてください。

注 • 市販品のポリ袋は、45 L (幅 650 mm × 深さ 800 mm) が使用可能です。
ただし厚さ 0.04 mm 以上のものをご使用ください。

• 吸込口部のポリ袋の端部は、タンク上面から出さないでください(右図参照)。

タンク上面からポリ袋の端部を全て出すと、吸込口がふさがれ、集じんできません。



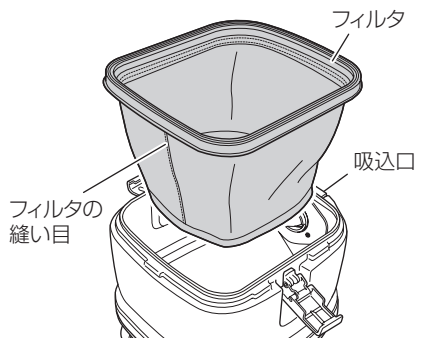
フィルタの取付け・確認

⚠ 警告

- フィルタ（布フィルタまたは粉じん用フィルタ、プレフィルタ）は、必ず取付けてください。
モーターが故障する原因になります。
- RP 80 YB、RP 150 YBの場合、サイディング粉、石材粉など細かい粉じんを集じんする際は、別売部品の紙フィルタを使用してください。詳細は、P29「紙フィルタの取付け」を参照してください。
- RP 80 YB、RP 150 YBの場合、付属の布フィルタは乾湿両用フィルタですので、水などの液体を吸水するときも取りはずさないでください。
- RP 80 YB、RP 150 YBの場合、付属の布フィルタで繰り返し吸水すると、吸水量が著しく低下します。
繰り返し大量の吸水をする場合は、別売のナイロンフィルタを使用してください。

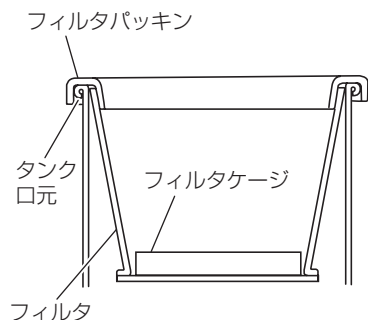
RP 80 YB、RP 150 YBの場合

- 1 フィルタの縫い目を吸込口の反対側になるように組込みます。



- 2 フィルタパッキンがタンク口元にかかっていることを確認してください。

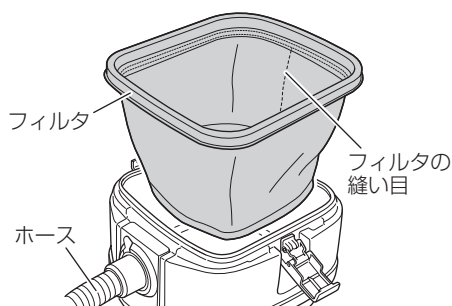
- 3 フィルタの底部にフィルタケージが入っていることを確認してください。



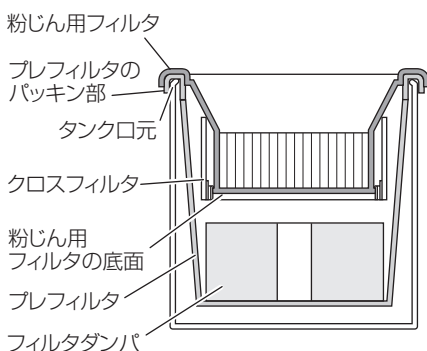
RP 80YD、RP 150YD、RP 250YD、RP 350YAの場合

注 RP 80YD、RP 150YD、RP 250YD、RP 350YAの場合、水の吸水ができません。

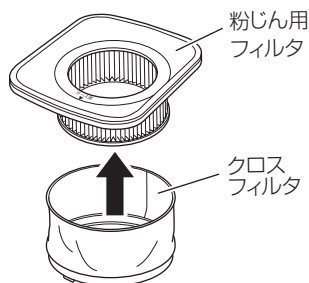
1 フィルタの縫い目をホースの反対側になるように組み込みます。



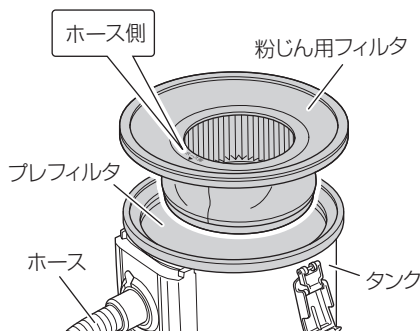
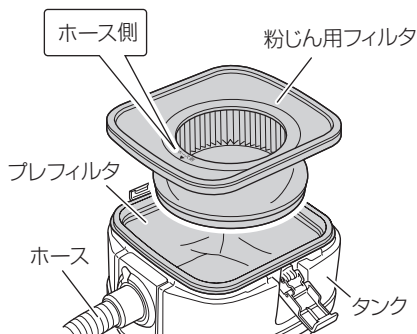
2 プレフィルタのパッキン部がタンク口元にかかっていることを確認してください。
次にプレフィルタ底にフィルタダンパを入れてください。



3 粉じん用フィルタにクロスフィルタを表示された矢印方向からさし込み、取付けてください。



4 「ホース側」の表示に方向を合わせて、粉じん用フィルタを入れます。



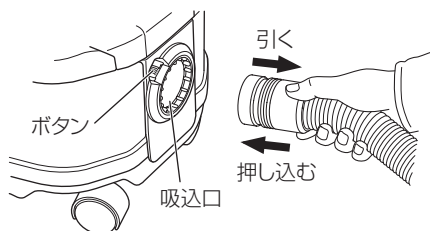
RP 350YAの場合

ホース(床用吸口他)の接続

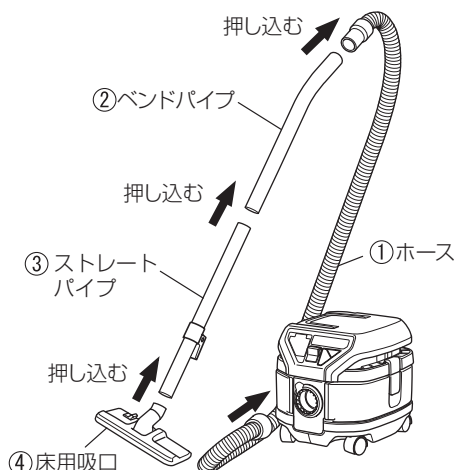
RP 80 YB、RP 150 YBのみ

掃除機として一般清掃作業する場合は、ホースに付属のベンドパイプ、ストレートパイプ、床用吸口を接続してご使用ください。

1 付属のホース(内径 $\phi 38$ ×長さ2 m)をタンクの吸込口に「カチッ」と音がするまで押し込み、接続します。ホースを取りはずす場合は、吸込口のボタンを押しながらホースを引いてはずしてください。



2 ①ホース(内径 $\phi 38$ ×長さ2 m)
②ベンドパイプ
③ストレートパイプ
④床用吸口
の順に、矢印方向に押込んで接続します。
用途に応じて、すき間用吸口を取付けることもできます。



電動工具との接続

⚠ 警告

●表中の適用形名で下記の消費電力を超える電動工具は、本機の連動用コンセントに接続しないでください。

定格以上の電流が流れ、連動回路や電源プラグなどの故障やけがの原因になります。

また、この機体の電源プラグを接続しているコンセントとは別のコンセントに接続してください。

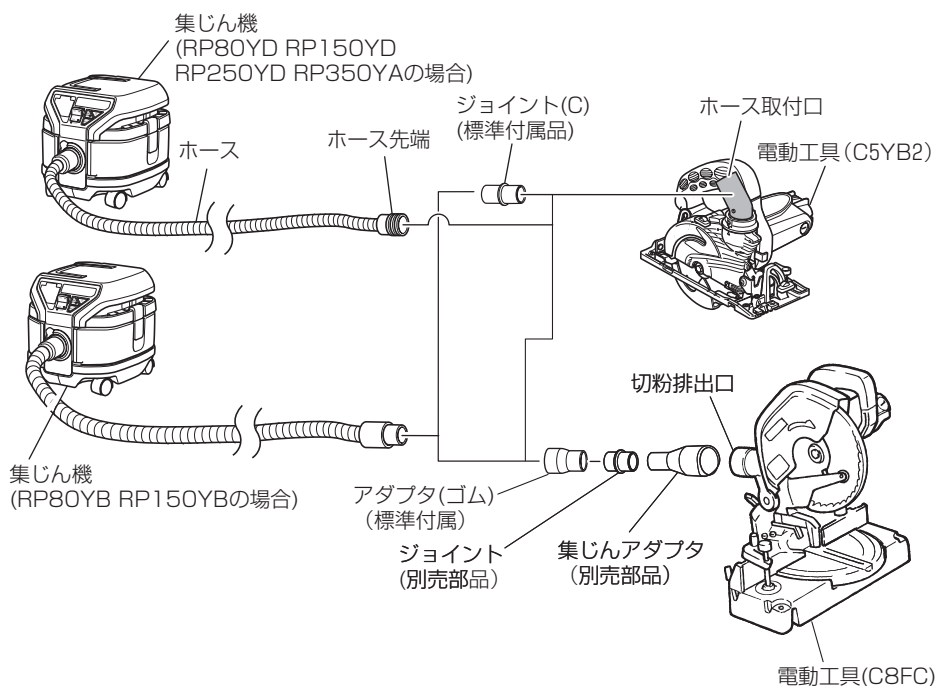
この機体を「強」運転する場合…電動工具の消費電力 100 ～ 285 Wまで

この機体を「中」運転する場合…電動工具の消費電力 100 ～ 760 Wまで

この機体を「弱」運転する場合…電動工具の消費電力 100 ～ 1,050 Wまで

●火花を発生する作業の集じんはできません。

標準付属のジョイントやアダプタで、ホースを電動工具へ接続します。
 接続する電動工具によって、付属のアダプタや、ジョイント、さらに別売部品の「集じんアダプタ・ジョイント」が必要となりますので、P8～10を参照して選択してください。



●ホースバンドの取付け

RP 80YD、RP 150YD、RP 250YD、RP 350YAの場合のみ

電動工具と接続して使用する場合は、ホースとコード(電動工具用)がからまないよう、付属のホースバンドで固定してください。

約1mの間隔で結束してください。



●マキタ製電動工具との接続

マキタ製電動工具と本機を接続する「D25アダプタ(2種類)」「D38アダプタ(2種類)」を標準付属していますので、接続方法と適用機種について、下表を確認のうえご使用ください。

適用機種	別売部品 集じんアダプタ	電動工具用集じん機標準付属品	
		接続アダプタ・ジョイント	ホース
マキタ製電動工具 防じん丸のこ KS4000FX KS5000FX KS4100F KS5100F KS521DRF KS520DRJ 5034FKB 5044KB 5055FKB 5045KB 5047KB 充電式防じん丸のこ 5036D 5026D 防じんカッタ 4123KB 電子コンクリートカンナ PC5001C 集じんカバー付きディスクサンダー 9533BSK ホイールサンダー 9740 9741 スライド丸のこ LS0712 LS0612FL LS0611FL LS0716FL LS0814FL LS0715FL LS1014 LS1213 卓上丸のこ LS1040F LS0840F LS0840FL LS1510 丸のこ盤 2701N(P) スライド丸のこ盤 LT610 パネルソー LT600 電子バンドソー 2114C	集じんアダプタ不用	D25アダプタ (38mm用) D38アダプタ (38mm用)	内径φ28×5m 内径φ38×2m
マキタ製電動工具 防じん丸のこ 5205FX KS5200FX 内装丸のこ 5240L 5241 内装直角丸のこ 5210L 丸のこ 5230 際切り丸のこ 5840BA 充電式丸のこ SS5400 充電式防じん丸のこ KS520D KS521D ジョイントカッタ 3901 コンクリートカンナ PC9003 ベルトサンダー 9031 9911 9403 9903 9404 仕上げサンダー BO3710 BO4900V 防じんミニサンダー BO4555 BO4565 ランダムオービットサンダー BO5030 BO5041 BO5021 オービタルサンダー 9046 ルーター RP0910	集じんアダプタ不用	D25アダプタ (26mm用) D38アダプタ (26mm用)	内径φ28×5m 内径φ38×2m
他社電動工具 接続口径φ20、φ22、φ26製品 (マキタ製)ハンマドリル他	アダプタ(A)		
マキタ製電動工具(接続口径φ36、φ45製品) 防じん丸のこ KS4000FX KS5000FX KS4100F KS5100F KS521DRF KS520DRJ 5034FKB 5044KB 5055FKB 5045KB 5047KB 充電式防じん丸のこ 5036D 5026D 防じんカッタ 4123KB 電子コンクリートカンナ PC5001C 集じんカバー付きディスクサンダー 9533BSK ホイールサンダー 9740 9741 スライド丸のこ LS0712 LS0612FL LS0611FL LS0716FL LS0814FL LS0715FL LS1014 LS1213 卓上丸のこ LS1040F LS0840F LS0840FL LS1510 丸のこ盤 2701N(P) スライド丸のこ盤 LT610 パネルソー LT600 電子バンドソー 2114C	アダプタ(B)	ジョイント (別売) アダプタ (ゴム)	内径φ38×2m

連動用コンセント

⚠ 警告

- ・連動用コンセントには、この機体のスイッチ、連動/単動スイッチの位置にかかわらず、電圧がかかります。電動工具の電源プラグを連動用コンセントにさし込む場合、電動工具のスイッチが切れていることを確認してください。
電動工具のスイッチが入っているのを知らずに電源プラグを連動用コンセントにさし込むと不意に機体が起動し、思わぬ事故のもとになります。
- ・下記の消費電力を超える電動工具は、本機の連動用コンセントに接続しないでください。
定格以上の電流が流れ、連動回路や電源プラグなどの故障やけがの原因になります。
また、この機体の電源プラグを接続しているコンセントとは別のコンセントに接続してください。
この機体を「強」運転する場合…電動工具の消費電力 100 ～ 285 Wまで
この機体を「中」運転する場合…電動工具の消費電力 100 ～ 760 Wまで
この機体を「弱」運転する場合…電動工具の消費電力 100 ～ 1,050 Wまで
- ・電動工具が一重絶縁の場合は、電動工具のアースクリップを必ずアース端子に接続してください。(アースクリップ付 2 P 電源プラグの場合)。
アースクリップをアース端子に接続しないと感電の恐れがあります。
- ・電源プラグに抜け止めがかかっている状態で、コードを引っ張らないでください。
電源プラグを左に回し、抜け止めをはずしてから電源プラグを抜きとってください。

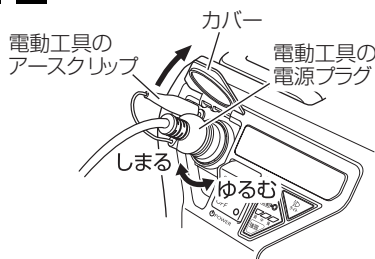
1 カバーを持ち上げ、電動工具の電源プラグを連動用コンセントにさし込み、右に回します。回らなくなったところで、電源プラグの抜け止めがかかります。
電源プラグを抜く場合は、左に回してから引き抜いてください。

2 電動工具が一重絶縁品のアースクリップ付 2 P 電源プラグの場合は、電動工具のアースクリップを必ずアース端子に接続してください。

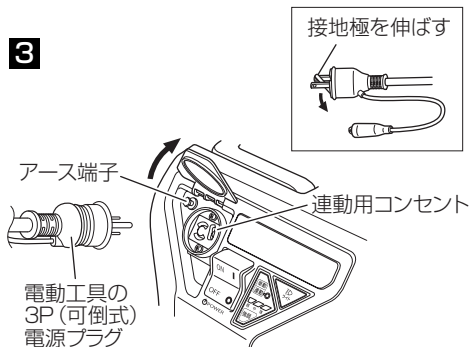
3 電動工具が一重絶縁品の 3 P (可倒式) 電源プラグの場合は、接地極端子を伸ばしてから連動用コンセントにさし込み、右に回してください。

注 連動用コンセントに巻線トランスが組み込まれている製品を接続すると、機体が約 5 秒間連動しますが、故障ではありません。

1 2



3

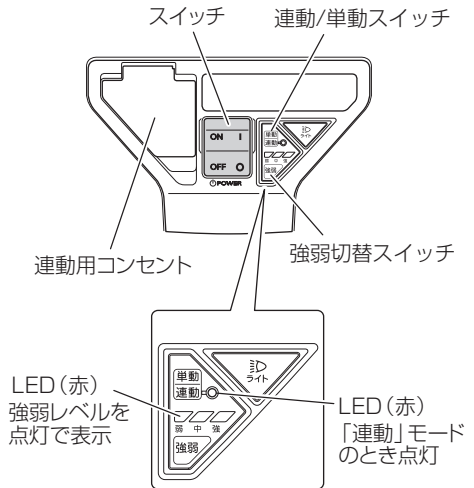


使
い
方

スイッチの操作

電動工具と連動して運転する

- ①スイッチを「ON」側に押します。
- ②連動/単動スイッチを押して、「連動」モードに設定します。
(「連動」モードのとき、LED (赤) が点灯)
- ③強弱切替スイッチを押して、吸込み力を切替えます。
接続する電動工具の消費電力に合わせて「強」「中」「弱」を選択します。
(強弱レベルは、LED (赤) が点灯して表示)
- ④接続した電動工具のスイッチの「ON」/「OFF」操作で、この機体も連動して運転・停止します。
なお、電動工具のスイッチを切った後も、ホース内にたまった粉じんを吸い込むために機体は数秒間運転してから停止します。



単動で運転する

- ①スイッチを「ON」側に押します。
- ②連動/単動スイッチを押して、「単動」モード (LED消灯) を選択します。
- ③強弱切替スイッチを押し、用途に合わせて「強」「中」「弱」を選択します。
- ④停止させるときは、スイッチを「OFF」側に戻します。

注 本機は、メモリー機能を備えています。一度「OFF」側にした後、次にスイッチを「ON」にすると、連動/単動スイッチおよび強弱切替スイッチはスイッチを「OFF」にしたときの状態で復帰します。

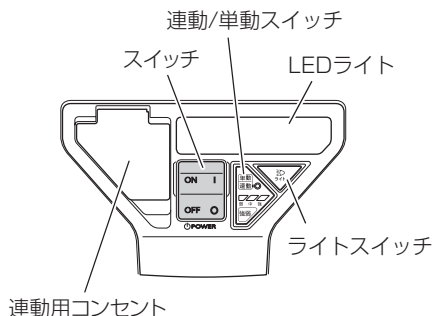
LEDライトの使い方

スイッチが「ON」側の状態で、ライトスイッチを押すとLEDライトが点灯・消灯します。

また、連動/単動スイッチが「連動」モードに設定されていれば、本機を稼働させない状態でもライトスイッチの操作で点灯・消灯ができます。

⚠ 注意

LEDライトをのぞきこんで、直接ライトの光を目にあてないでください。
LEDライトの光が連続して目に当たると目を傷める原因になります。



集じんする

⚠ 警告

- フィルタは、必ず取付けてください。モーター損傷の原因になります。
- ヘッド上面を踏み台にしたり、座ったりしないでください。急に機体が動き出し、転倒するなど、けがの原因になります。

- 下記の消費電力を超える電動工具は、本機の連動用コンセントに接続しないでください。

定格以上の電流が流れ、連動回路や電源プラグなどの故障やけがの原因になります。

また、この機体の電源プラグを接続しているコンセントとは別のコンセントに接続してください。

この機体を「強」運転する場合…

電動工具の消費電力100～285 Wまで

この機体を「中」運転する場合…

電動工具の消費電力100～760 Wまで

この機体を「弱」運転する場合…

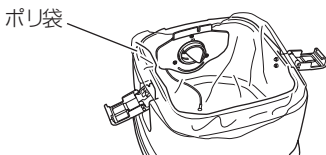
電動工具の消費電力100～1,050 Wまで

- 粉じんの多い作業では、防じんマスク、保護メガネを使用してください。

1

ポリ袋を取付ける

必要に応じ、ポリ袋を取付けてください。
(P13「ポリ袋の取付け」参照)



2

フィルタを確認する

フィルタが正しく取付けてあることを確認します。

(P15「フィルタの取付け・確認」参照)

3

ホースを電動工具へ接続する

- タンクの吸込口に、付属のホースを接続します。

(P17「ホースの接続」参照)



- 付属のアダプタと必用に応じて別売の集じんアダプタ・ジョイントで、ホースを電動工具へ接続します。

(P17「ホースの接続」参照)

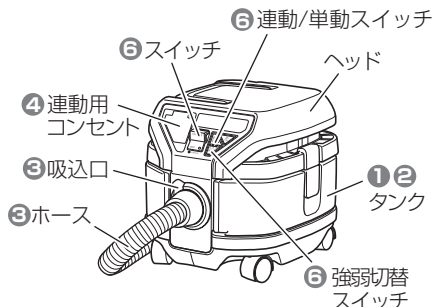
(P17「電動工具との接続」参照)



注

ホースの取扱いはていねいにしてください。ホースを無理に曲げたり、踏みつけたり、ホースを引っ張って集じん機を移動したりしないでください。また、ホースを折り曲げたまま収納しないでください。

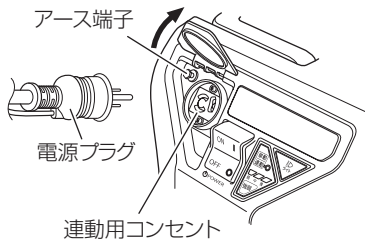
ホースの変形などの原因になります。



4

連動用コンセントに 接続する

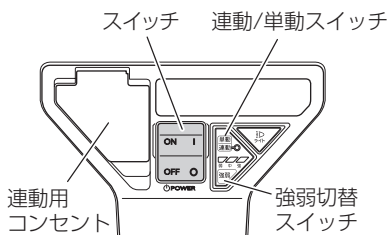
- 電動工具の電源プラグをさし込み、右に回して抜け止めをかけます。
- アースクリップ付 2 P 電源プラグの場合は、アースクリップをアース端子に接続してください。
(P20「連動用コンセント」参照)



6

モードを選択し、 運転・停止する

- スwitchの「ON」側を押します。
- 連動/単動スイッチを押してモードを選択します。
- 強弱切替スイッチを押して、強弱レベルを選択し運転します。
「OFF」に戻すと運転を停止します。



5

電源プラグを コンセントにさし込む

注 「連動」モードのときは、ホース内の粉じんを吸込むため、電動工具のスイッチを切った後も機体は数秒間運転してから停止します。

フLOAT機構

RP 80 YB、RP 150 YBの場合のみ

⚠ 警告

- フLOATが働いたままで、運転を続けしないでください。
モーターの温度が異常に上昇し、部品の変形やモーターが故障する原因になります。
- 洗剤など発泡性の液体や泡を吸込ませないでください。
フLOATが働く前に排気口から泡がふき出します。そのまま使用すると、感電や故障の原因になります。

この機体には、一定量以上の水を吸込んだ場合に、モーター内に水が入るのを防ぐフLOAT機構がついています。

フLOATが動作して、水を吸込まないときは、速やかにスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、タンク内の水を捨ててください。

フィルタのちり落とし

RP 80 YB、RP 150 YBの場合

⚠ 警告

- 必ずスイッチを「OFF」にし、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 粉じんが舞い上がることがありますので、防じんマスク、保護メガネを使用してください。

⚠ 注意

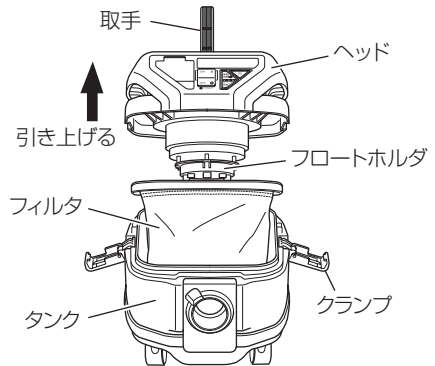
粉じんが満杯になっていると吸込み力が低下しますので、タンク高さの半分程度を目安に、粉じんは早めに捨ててください。

運転中に吸込み力が低下した場合、フィルタのちり落としをしてください。

1 クランプ(2個)をはずして、取手を上方へ引き上げ、ヘッドを取りはずします。

2 フィルタがタンクに組込まれた状態で、フィルタの内側面を数回たたいて付着した粉じんを落とします。吸込み力が回復します。

3 ヘッド、クランプをもとの位置に取付けてください。



RP 80 YD、RP 150 YD、RP 250 YD、RP 350 YAの場合

スイッチを「OFF」にするたびに、ちり落としされる機構となっています。作業途中で吸い込みが悪くなったときは、一度スイッチを「OFF」にしてください。再度作業を開始しても吸い込みが回復しないときは、粉じんが一杯になっていますので、P 27「粉じん(水)を捨てる」の手順に従って粉じんを捨ててください。

粉じん(水)を捨てる

⚠ 警告

- 必ずスイッチを「OFF」にし、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 乾湿両用の場合、タンク内に液体が入ったまま機体を横倒しにすると、モーター部、スイッチ部に液体が入り、感電やモーターが故障する原因になります。
- 粉じんが舞い上がることがありますので、防じんマスク、保護メガネを使用してください。

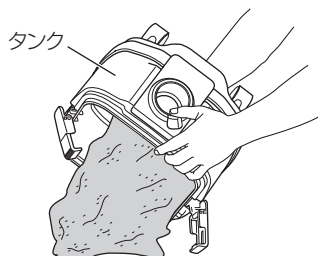
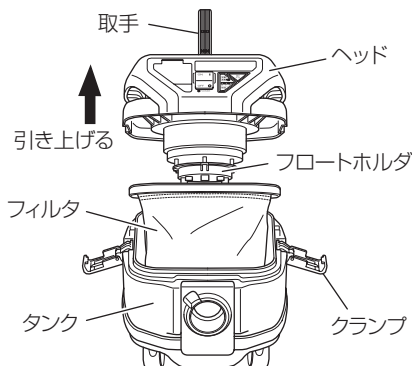
⚠ 注意

- タンク、フィルタ、ヘッドに強い衝撃を与えないでください。
変形、破損の原因になります。
- 使用後は毎回、粉じんを捨てるようにして、機体、フィルタなどを常に清潔に保ってください。
吸込力の低下やモーターの故障、悪臭発生やさびの原因になります。
- タンク内の粉じんを捨てるときは、クランプを持たないでください。
クランプが破損する原因になります。

- 注** 粉じんのたまったポリ袋をタンクから取出すときは、タンク内の突起部に引っかからないようにポリ袋を取出してください。
ポリ袋が破れる原因になります。
- ポリ袋には、粉じんを溜め過ぎないでください。
ポリ袋が破れる原因になります。
 - ヘッドやタンクに付属品(パイプ、吸口等)をさし込んだまま機体を倒さないでください。
各部の破損の原因になります。

RP 80 YB、RP 150 YBの場合

- 1** クランプ(2個)をはずして、取手を上方へ引き上げ、ヘッドを取りはずします。
- 2** フィルタの内側面を数回軽くたたいて、フィルタに付着した粉じんを落とします。
次にタンクからフィルタとフィルタケースを取りはずします。
- 3** タンクを倒し、粉じんを捨てます。
- 4** フィルタ、フィルタケース、ヘッド、クランプをもとの位置に取付けてください。



使
い
方

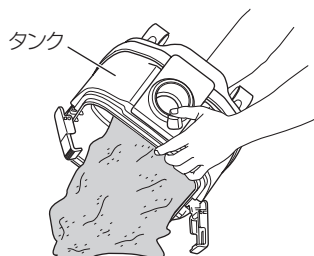
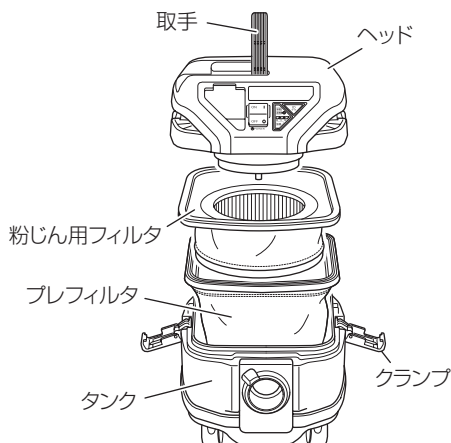
RP 80YD、RP 150YD、RP 250YD、RP 350YAの場合

1 クランプ(2個)をはずして、取手を上方へ引き上げ、ヘッドを取りはずします。

2 粉じん用フィルタを取出し後、プレフィルタの内側面を数回軽くたたいて、付着した粉じんを落とします。次にタンクからプレフィルタを取出します。

3 タンクを倒し、粉じんを捨てます。

4 粉じん用フィルタ、プレフィルタを取付けます。
次に、ヘッド、クランプをもとの位置に取付けてください。
(P 13「ポリ袋の取付け」参照)
(P 15「フィルタの取付け・確認」参照)



紙フィルタ(別売部品)の取付け

⚠ 警告

- 必ずスイッチを「OFF」にし、電源プラグをコンセントから抜いてください。
 - 紙フィルタを使用するときは、付属の布フィルタと併用してください。
(乾式：RP 80YD、RP 150YD、RP 250YD、RP 350YAの場合、付属の粉じん用フィルタ、プレフィルタと併用してください。)
- 万一、紙フィルタが破損したとき、モーターに粉じんが入り、異音や異常発熱による火災の原因になります。

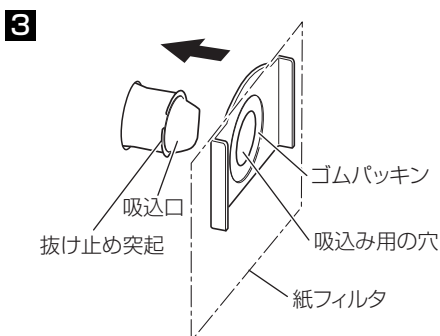
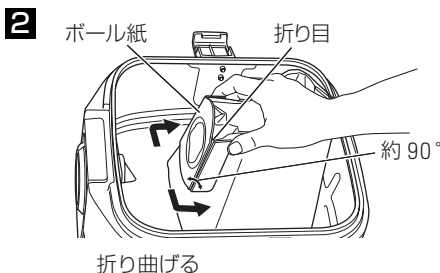
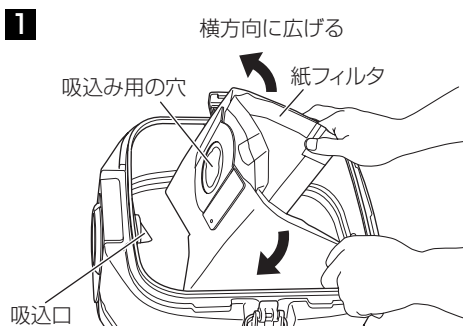
- 1** 紙フィルタの吸込み用の穴がタンクの上側になるよう、紙フィルタを横方向に広げます。

- 2** 機体に装着する前に、ボール紙についている2カ所の折り目を矢印の方向へ約90°折り曲げます。

- 3** 紙フィルタの吸込み用の穴を機体の吸込口に合わせます。
図の矢印方向へ、紙フィルタのボール紙が吸込口にある抜け止め突起より奥側になるよう、しっかりとさし込んでください。

⚠ 注意

紙フィルタ使用時は、水などの液体、湿った粉じんを吸わせないでください。破ける原因になります。



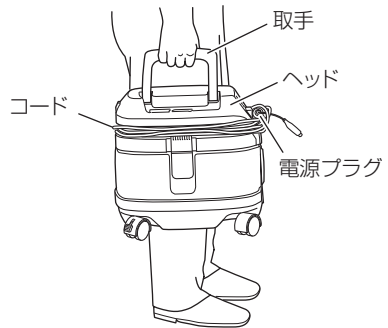
運搬・収納

●取手の使い方・電源コードの収納方法

運搬・移動する場合は、右図のようにヘッド部の取手を持って行きます。取手を使用しない場合は、ヘッド部に収納しておいてください。

コードはヘッド下部に巻き付けて収納できます。巻き付けたコードの内側に電源プラグを引っ掛けてください。

機体を運転する場合は、巻き付けたコードをすべてほどいてください。

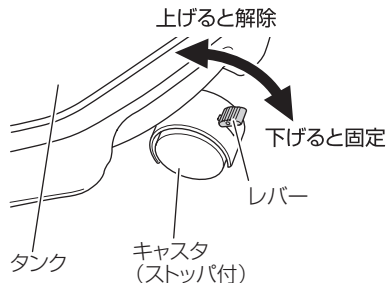


●キャストの固定・解除

キャスト（ストッパ付）のレバーを下げると車輪の回転が固定されます。車輪の固定を解除する場合は、レバーを上げます。機体を収納しておく場合、あるいは掃除の途中で作業を中断する場合、キャストを固定すると機体の動き止めができて便利です。

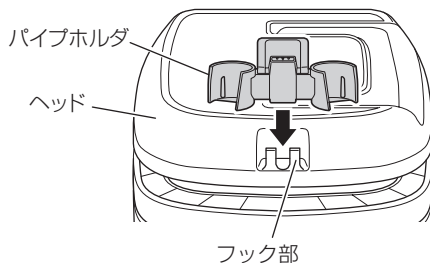
注 機体を移動する場合は、キャストの固定が解除されていることを確認してください。

キャストの破損の原因になります。

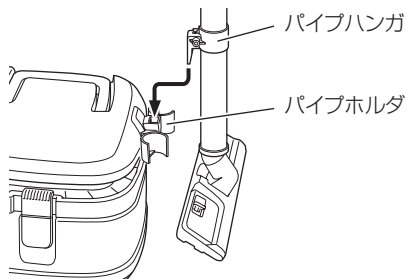


●機体を収納する

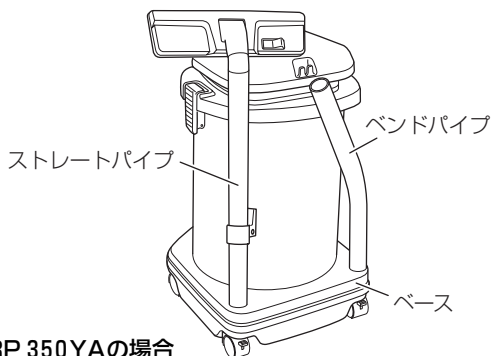
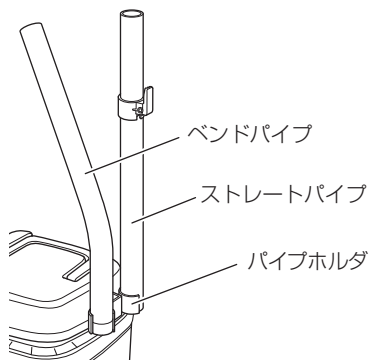
- 1 付属のパイプホルダを図のようにしてフック部に取付けます。



- 2 掃除の途中で作業を中断したいときは、パイプハンガをパイプホルダに引っ掛けてください。



- 3 機体を収納するときは、図のようにパイプをさし込むとコンパクトに収納できます。



RP 350YAの場合

保守・点検

⚠ 警告

- 点検・手入れの際は、必ずスイッチを「OFF」にし、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ぬれた手で作業しないでください。
感電やけがの原因になります。
- 粉じんが舞い上がることがありますので、防じんマスク、保護メガネを使用してください。

- 注** • 各フィルタは消耗品ですので、予備品を準備することをお勧めします。
- 各フィルタは定期的に点検し、破れ、穴がある場合は、交換してください。
そのまま使用すると、機体損傷の原因になります。

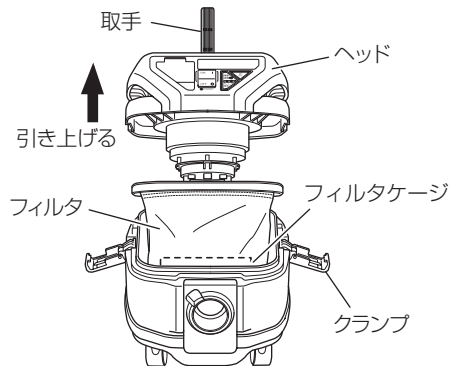
●フィルタの手入れ

RP 80 YB、RP 150 YBの場合

フィルタが目詰まりしますと、吸込み力が著しく低下しますので、フィルタに付着した粉じんは、こまめに取り除いてください。

ちり落としのしかたは、フィルタケースを持って、布フィルタを軽くたたきます。水にぬれた布フィルタで粉じんを吸引すると、すぐ目詰まりして吸引力が低下します。

布フィルタは、陰干しして十分乾燥させてから使用してください。



粉じん用フィルタ、プレフィルタ、クロスフィルタ、フィルタダンパが目詰まりすると、吸込み力が著しく低下しますので、付着した粉じんは、こまめに取除いてください。

①ちり落としは、プレフィルタ、クロスフィルタ、フィルタダンパを手で軽くたたきます。圧縮空気を吹きかけると簡単に行えます。

②粉じん用フィルタはブラッシングや圧縮空気を吹きかけて清掃をします。

粉じん用フィルタは定期的(1~2ヶ月に1回以上)に水洗いによる清掃を行い粉じん除去してください。

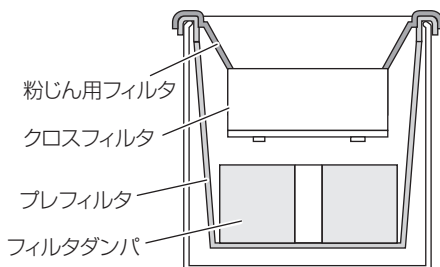
なお、水洗い後は、陰干しして十分乾燥させてから使用してください。

注・プレフィルタは、目詰まりがひどい場合でも軽くたたく程度にしてください。

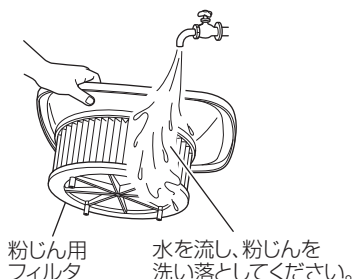
ブラシで強くこすったりすると寿命が短くなります。

・粉じん用フィルタは、たたきつけたりしないでください。

樹脂部が割れる原因になります。



粉じん用フィルタ



●本体はきれいに

石けん水に浸した布をよく絞ってからふいてください。
ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油類は変形の原因になるので使用しないでください。

●取付ねじの点検

時々点検して、ゆるんでいたら、締め直してください。
そのまま使用すると危険です。

●モーター部の取扱について

モーター部の巻線は機体の重要な部分です。巻線に傷、洗油および水をつけないよう十分注意してください。

●製品や付属品の保管

使用しない製品や付属品の保管場所として、下記のような場所は避け、安全で乾燥した場所に保管してください。

- 注**
- お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる場所には保管しない。
 - 軒先など雨がかったり、湿気のある場所には保管しない。
 - 温度が急変する場所、直射日光の当たる場所には保管しない。
 - 引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所には保管しない。

ご修理のときは

修理・お手入れ・お取扱いのご相談は、まずお買い求めの販売店にご依頼ください。
転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認の上、お近くの営業拠点へ
お問い合わせください。

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号(NO.)などを下欄にメモしておかれますと、
修理を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日	年 月 日	製造番号(NO.)
販売店(TEL)		

全国営業拠点

お客様相談センター ※土・日・祝日を除く 9:00~17:00

●フリーダイヤル



0120-20-8822

※携帯電話からはご使用になれません。
携帯電話からはお近くの営業拠点にお問い合わせください。

※長くお待たせする場合があります。
お急ぎのときは、お近くの営業拠点に直接お問い合わせください。

●営業本部	●北陸支店
TEL (03) 5783-0626	TEL (076) 263-4311
●北海道支店	●関西支店
TEL (011) 896-1740	TEL (0798) 37-2665
●東北支店	●中国支店
TEL (022) 288-8676	TEL (082) 504-8282
●関東支店	●四国支店
TEL (03) 5733-0255	TEL (087) 863-6761
●中部支店	●九州支店
TEL (052) 533-0231	TEL (092) 621-5772

- 営業所の移転等により、上記電話番号に連絡がとれない場合は、
下記のアドレスにアクセスすることで、最新の全国営業拠点
をご確認いただけます。

<http://www.hitachi-koki.co.jp/powertools/sales.html>

WEBに
アクセス



右のQRコードをバーコードリ
ーダー機能付きの携帯端末より
読み取ることで、最新の全国営
業拠点をご確認いただけます。



〒108-6020 東京都港区港南2丁目15番1号(品川インターシティA棟)

営業本部 TEL (03) 5783-0626 (代)

電動工具ホームページ—<http://www.hitachi-koki.co.jp/powertools/>

505

部品コード C99217703 F